

令和5年度 おいたまの郷事業報告

社会福祉法人敬友会

1 総括

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の五類移行を契機に、正常化を図るべくスタートを切ったが、前年度から引く続く職員の離職超過になかなか歯止めがかからず、そうした中で適正なサービスの提供を維持し、かつ職員の労働環境を悪化させない為の措置として止む無く短期入所の定員を縮小することとなった。

定員縮小による経営への影響は甚大であったが、大規模クラスターによって大幅減益となった前年度と比較して、特養部門をはじめ、在宅各部門（訪問介護を除く）とも前年度を上回る実績をあげることができたため、減益幅は若干縮小することができた。

しかし、新型コロナウイルス感染症が五類に移行したとはいえ、基礎疾患のある方や体力低下傾向の高齢者にとっては未だ油断できない疾病であり、令和5年度においても小規模ながら数回のクラスターを経験することとなり、経営面だけではなく、利用者のQOLや職員のメンタルにも多大な影響を与えてしまうこととなった。

2 各事業の状況

- おいたまの郷拠点区分

介護保険事業収益 55,045 万円（前年度比－154 万円）

人件費率 67.43%（前年度比－1.75%）

事業費率 18.94%（前年度比－0.17%）

事務費率 8.62%（前年度比＋0.43%）

当期活動増減差額 113 万円（前年度比＋285 万円）

1. 特別養護老人ホーム

平均稼働率 従来型 93.57%、ユニット型 96.58%、総合 94.70%（前年度比＋1.69%）

2. 短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護

一日平均利用者数 15.51 人（前年度比－4.44 人）

※令和5年10月より定員を20人から10人に縮小

3. 通所介護・日常生活支援総合事業

一日平均利用者数 22.10 人（前年度比＋1.44 人）

4. 訪問介護・日常生活支援総合事業

一月平均利用者数 27.75 人（前年度比－2.92 人）

※介護保険外独自事業を含む

5. 居宅介護支援・予防支援

一月平均給付管理人数 116.83 人（前年度比＋22.08 人）

6. 地域包括支援センター

添付資料のとおり